

川口市こども計画（案）

令和7年度～令和11年度



川口市では、こどもを主人公として、こどもやその保護者、若者を支援する計画を策定します。

皆さんの意見を聴いて、より良い計画を策定していきたいと思っています。

二次元コードからアンケートフォームにご意見を頂きますようご協力をお願いいたします。



川口市こども計画とは？



川口市では、令和2年3月に「第2期川口市子ども・子育て支援事業計画」を策定し、すべてのこどもが健やかに育つよう取り組んでいます。令和6年4月に、「川口市子どもの健やかな成長のための支援に関する条例」を施行し、これまで以上に川口市と周囲の大人が協力して皆さんの成長を支援することとしました。

そうなんだ。川口市では、いろいろなことに取り組んでくれているんだ。



そうです。国では、最近、こども基本法が制定され、川口市でも国の考えを考慮し、新しい計画を策定するために、今回見直すことにしました。若者の皆さんに対する施策も加えていく予定です。皆さんのためにより良い計画を策定するため、意見を募集します。



自分の将来や周りの人、地域のことにも関係があるかも！見てみよう！！



皆さんの声を聴いて、計画をつくっています。

計画を策定するために、こどもから大人までアンケート調査を実施しました。
また、市内の大学で、川口市のまちに関する意見を聴く予定です。

アンケート調査

調査対象

子ども・子育て支援に関するニーズ調査

- 市内在住の就学前児童、及び小学生の保護者

子どもの生活実態調査

- 市内在住の就学前児童、小学生及び中学2年生の保護者、並びに小学5年生及び中学2年生本人

子ども・若者意識調査

- 市内の小学校に通う小学5年生 ● 市内の中学校に通う中学2年生 ● 川口市立高等学校に通う高校2年生 ● 18歳から29歳の市民

調査期間

令和5年11月から令和6年1月

調査方法

郵送配布・郵送回収及びインターネット回答

今回皆さんに意見をもらいたいこと

川口市では、こども計画の骨子（骨格）をつくっています。

計画の骨組み

基本理念

めざすまちの姿(ゴール)です。

基本目標

めざすまちの姿(ゴール)に向けて川口市としてやっていく目標です。

施策

目標の実現に向けた取組などをまとめたものです。

皆さんには、自分たちが興味あることで、市に充実して欲しいことなどの意見を募集します。

第2期川口市子ども・子育て支援事業計画の基本理念

みまもる目 つながる手
子どもとともに育つまち かわぐち

この基本理念は、平成17年につくられたもので、地域の人とこどもや保護者を見守り、こどもと保護者を応援して地域のつながりが強くなり、皆さんが幸せになるまちになることを目指したものです。

この考えを踏まえ、今回のこども計画の基本理念を考えていきます。

どんなことをするの？

基本目標1 》すべてのこどもの幸せにつながる支援を行います

妊娠前から幼児期まで（0歳から5歳ぐらいまで）

乳幼児が安心してすごせるよう、保育園や幼稚園、認定こども園を充実させます。
妊娠中や出産後も安心できるように、また困っているこどもの保護者が助けを求めやすいように、病院や福祉の人たち、ボランティアの人などと協力してサポートしていきます。

学童期・思春期（6歳から15歳ぐらいまで）

こどもがのびのびと学校で勉強できるようにしていきます。また、いじめや不登校等、悩んでいるこどもにサポートしていきます。こどもの自己肯定感や思いやりを育て、将来に社会で活躍できる力を伸ばす支援を続けます。

青年期（16歳から39歳ぐらいまで）

家庭の経済状況に関係なく、希望する進路に進めるよう支援します。また、就職活動や結婚を支援していきます。

基本目標2》子育て・子育てを支援します

こども・若者の権利を守ること

こども・若者の権利が守られるよう、こども・若者の権利について、大切だということをわかりやすくこども本人や大人に伝えます。

多様な居場所、安心して外出できる環境をつくること

こども・若者が家や学校以外で安心できる居場所を充実させていきます。また、安心して外出できるよう交通安全対策や防犯対策に取り組めます。

困りごとをかかえている子ども・若者へのサポート

ひきこもりや困りごとを抱えているこども・若者の相談の場や、同じ環境にいる人との交流する場を設置するなどのサポートを行います。

基本目標3

保護者が安心して子育てができる環境を確保します

経済的なサポート

保護者が安心して子育てができるよう、経済的なサポートを行います。

地域でのサポート

保護者が地域の中で孤立しないように、地域での子育てしている人との交流の場や機会を増やしていきます。

子育てについての情報のサポート

困ったときにすぐに、必要な情報が入手できるよう、必要な情報を伝えます。また、困った人に情報が届くような仕組みをつくります。

